

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名	変性性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術において、人工弁輪の種類とサイズの違いが拡張期僧帽弁位圧較差に与える影響に関する研究
当院の研究責任者 (所属)	矢野 光洋 心臓血管外科 部長
本研究の目的	変性性僧帽弁閉鎖不全症に対する手術は、従来僧帽弁置換術が主流でしたが、自己弁を温存する僧帽弁形成術の優位性が明らかとなり、現在では形成術を第一選択としています。その手技は逸脱弁尖の切除縫合と、人工腱索移植を中心としますが、どのような方法をとった場合も、人工弁輪の装着が耐久性の向上に必須であることはすでに異論のないところです。現在入手可能な人工弁輪には多くの種類があり、その選択についてはさまざまな議論がありますが、主たる目的は逆流制御です。一方で、術後遠隔期に僧帽弁狭窄症をきたす症例があることが明らかとなっており、術後はできるだけ小さい圧較差であることが望ましく、術後僧帽弁位圧較差という観点から人工弁輪の種類とサイズが与える影響を明らかにしておくことは意義深いことと思われま。そこで、当院で使用している4種類の人工弁輪について、術後比較的近接期における形成術後の僧帽弁位圧較差を心エコー図検査によって計測し比較します。
調査データ 該当期間	2014年11月から2021年9月の間に、宮崎市郡医師会病院心臓血管外科で手術を施行した変性性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術135例中、再手術例、大動脈弁置換術を併施した症例、およびedge to edge repairを追加した症例を除外した107例を対象とします。
研究の方法 (使用する試料 等)	<p>【実施責任者】 宮崎市郡医師会病院 (心臓血管外科部長： 矢野 光洋)</p> <p>【研究方法】</p> <p>研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得し、手術後比較的 近接期において施行された心エコー図検査における僧帽弁位での拡張期圧較差に ついて、人工弁輪の種類およびサイズと圧較差との関連性を追究する。</p> <p>① 術前臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患の有無、心不全分類) ② 心エコー図所見 (術前および術後近接期) ③ 手術データ (人工弁輪の種類とサイズ) ④ 術後合併症と在院死に関する情報</p>
情報の 他の研究機関への 提供	カルテ情報の他の研究機関への提供は行いません。
研究計画書および 研究に関する資料	<p>1) 研究計画書及び研究の方法に関する資料は請求に応じて入手又は閲覧可能です。ただし、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。</p> <p>2) 入手、閲覧を希望される方は研究責任者までご連絡ください。</p>
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報 (どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。
資料、情報利用の	診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ

拒否について	せ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。
本研究の資金源 (利益相反)	この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。 なお、本研究の実施責任者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院心臓血管外科 部長 矢野光洋 電話：0985-77-9101 FAX：0985-77-9110
備考	